

令和2年 2月 5日

足立区立花畑小学校
学校長 小林 浩二様

足立区立花畑小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 小宮 俊一郎

令和元年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

学力向上を中心として、「知・徳・体」のそれぞれにおいて教育活動の充実を図っており、十分に評価できる。今後も、発達段階に応じて、それぞれの教育活動が滞りなく行われることを期待する。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待について」

重点的な取組事項－1 学力向上

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

学力向上アクションプランに従って、学力向上のための様々な取組を行っている。特に、区の学力調査の結果は、目標値を通過した児童が大幅に年度当初と比べて大幅に上昇しており、十分に評価できる。

今後も、保護者・地域による丸付けボランティア、新聞を活用しての授業など、基礎学力の定着に向けての取組を確実にを行い、読書活動の充実にも注力することで、児童の学力の向上に努力してほしい。

重点的な取組事項－2 教師の指導力向上

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

働き方改革などの取組により、時間的な制約があるなか、若手教員への研修会や主任教諭による校内研修会を開催し、全職員が指導力の向上を図っていかうとしたことは評価に値する。

課題にもあるように、研修時間の確保や研修の成果を学校全体に還元することで、さらに指導力の向上に努めてほしい。

重点的な取組事項－3 児童の心身の育成の充実

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

学校評価のアンケートにおいて、学校に対しての保護者・地域の肯定的な評価が85%を超えていることが評価できる。日頃から、全教職員が保護者・地域の思いを真摯に受け止め、教育活動に活かしていることの表れである。

また、豊かな心の醸成、健康な身体の成長、特別支援教育の推進についても、あらゆる取組を行うことにより、成果となって表れている。

3 その他

昨年度に引き続き、開かれた学校づくり協議会に、管理職だけでなく、主幹教諭・主任教諭が出席し、地域・保護者と連携を図りながら、よりよい学校づくりを目指していた。今後も保護者・地域・学校が連携を図り「人任せ」にしない指導を行うことにより、児童の心身の育成の充実を図るとともに、保護者に対しての評価も向上するよう期待している。